

【小学校国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

手稲鉄北小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区域及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題（A）</p> <p>「話すこと・聞くこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>「書くこと」 △全国平均より上回っている。</p> <p>「読むこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度。</p> <p>主として「活用」に関する問題（B）</p> <p>「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「書くこと」 ▼全国平均より下回っている。</p> <p>「読むこと」 △全国平均より上回っている。</p>	<p>➢話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。</p> <p>➢目的や意図に応じて、文章全体の構成や表現を工夫して、推薦する文章を考えること。</p> <p>➢目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。</p> <p>➢相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。</p>	<p>➢互いの発言の意図を理解することの大切さに気づき、互いの考えを広げたり、まとめたりすることができるような話し合い活動の充実。</p> <p>➢「推薦理由を明確に伝える」などの目的や意図に合う事例を挙げることにより、自分の考えを具体化し、必要な資料を集め、適切に関係付けて書く活動の充実</p> <p>➢全体の構成を把握しながら読み、心がひかれた根拠となる人物の具体的な行動や言葉などの叙述を取り上げたり、自分の知識や経験などと関連付けたりしながら自分の考えをまとめる活動の充実。</p> <p>➢目上の人を相手に話したり、手紙を書いたりするなどして、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことに慣れるとともに、公の場で身内に関わる言葉の使い方に関する感覚を養う活動の充実。</p>

手稲鉄北小学校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区域及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

「数と計算」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

「量と測定」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「図形」

▼全国平均を下回っている。

「数量関係」

▼全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「量と測定」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「図形」

△全国平均を上回っている。

「数量関係」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

➤乗数や除数が小数である場合の除法の意味について理解すること。

例) 針金 1 m の重さを求める式を選ぶ。

➤分度器等の用具を用いたり、角の大きさを回転の大きさと捉えたりして角の大きさを求めること。

例) 180° や 360° を基に分度器を用いて 180° よりも大きい角の大きさを求めること。

➤円周率の意味や直径の長ささと円周の長さの関係について理解すること。

➤数量関係を発展的に考察し、数学的に表現すること。

➤問題場面を図や数直線等を用いて数量の関係を的確に捉えて演算決定し、立式できるようにする指導の工夫。

➤角の大きさの見当を付けて、角の大きさを測定したり、測定の結果を振り返って確かめたりする活動の充実

➤幾つかの円について、実際に直径の長ささと円周の長さを測定する活動を通して、性質を見いだしたりする指導の工夫。

➤算数の問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見いだした数量の関係を式で表現する活動の充実。

手稲鉄北小学校の概要

【領域】

「物質（粒子）」
△全国平均より上回っている。

「エネルギー」
▼全国平均より下回っている。

「生命」
◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「地球」
◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

➢物を水に溶かしても全体の重さが変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用すること。

➢電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善したりすること。

➢太陽の1日の位置の変化を光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用すること。

➢堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること。

改善の方向

➢既習の内容や生活経験と関係付けて話し合うなど自然の事物・現象を捉えるような活動の充実。

➢自らの予想や仮説を基に実験計画を立て、実験を行う前に予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通すなどの児童の工夫。

➢学習を通して明らかになった性質や働きを活用したものづくりを行い、つくったものが目的に合ったものになっているか振り返りなど、必要に応じて工夫・改善できるようにする指導の充実。

➢地球の領域における目的に合わせた観察・実験を位置付け、得られた結果を基に「事実」と「解釈」を示しながら、自然の事物・現象を科学的な言葉で説明するなどの活動の充実。